

## 第2回 町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会 議事要旨

開催日時	2020年5月20日(水) 18:30~20:16	
開催場所	町田市役所市庁舎 10階会議室	
部会員 (出席者)	委員	佐藤圭一、丹間康仁、遠藤誠徳、小崎公平、安達廣美、中一登、武藤雄丈、大石眞二
	職員	小池指導室長、田中教育総務課長、是安教育総務課担当課長、浅沼施設課長、小宮施設課用務担当課長、田村学務課長、有田保健給食課長、林教育センター所長、来住野施設課担当係長、根本学務課管理担当係長、鈴木教育総務課担当係長、 (庶務：教育総務課総務係) 中野主任、小形主任、京増主任
審議内容	新たな通学区域と学校づくりに関するアンケート及び意見募集について	

### ■議事内容(敬称略)

#### 1 開会

丹間部会長 (開会宣言)

#### 2 第1回検討部会の振り返り

教育総務課 (資料1の説明)

丹間部会長 教育総務課が議事整理した内容について異議はないか。

各委員 「異議なし」の発言あり。

#### 3 町田市立学校の新たな通学区域(アンケート調査案)について

教育総務課 (資料2の説明)

##### 【議論】

遠藤委員 様々な意見、アンケートを含めた意見を聞いた上で議論していくことに賛成。

小崎委員 前回のまとめを踏まえて、大変わかりやすいものになったと思います。アンケートの内容ですが、自由に回答できる問9ができたことは特によかったと思う。

武藤委員 質問項目にたどり着くまでに前置きが長くなると苦しいと感じる。2~4ページの内容は後ろの参考に回してもいいと感じた。言葉の表現も漢字だったり平仮名だったり不統一のため、統一したほうがいい。

また、9ページの問5の質問項目なども「配慮する必要があることがある」という表現について一般的な表現にしたほうがいいと思った。

これは確認になるが、6ページの「町田市立学校の通学区域案(2040年度)」に記載してある「2020年度の学級数」の学級編制については、児童生徒数を合計した後に学級編制基準に基づいて計算したものが確認したい。また、7ページ南つくし野4丁目、南つくし野3丁目黄色になっている理由を確認したい。

教育総務課 確認の1点目については、児童生徒数を学年別に合計したうえで、学級編制基準に基づいて計算したもの。2点目については、統廃合を議論するタイミングまでに通学区域を変更して学級数の偏在を解消することを想定して、南つくし野3丁目と

4丁目に黄色い網掛けをしているが、説明が不足していると思うため工夫したい。

武藤委員

新たな通学区域（アンケート調査案）で気になっているのは、相原・ゆくのき学園の地区の問題。特に小中一貫ゆくのき学園は、10年ほど前に肝入りで作ったと思う。何かしらの検証をしないまま統廃合の議論に入れてしまっていいのかと思う。

指導室長兼  
指導課長

小中一貫ゆくのき学園は2012年に創立した際の理念がある。この適正規模・適正配置の取組みは、よりよい教育環境を整備するという目的があるため、10月以降に具体的な審議をいただくまでに、教育委員会で総括を進めたい。

大石委員

この通学区域案を示した上でアンケートを実施して、広く意見を募集して審議を進めていくということに賛成。

安達委員

この調査内容で問題はございません。

中委員

「町田市立学校の児童・生徒数及び町田市人口の推移と将来推計」をアンケート調査票に掲載することは先が見えてアンケートも答えやすいと思った。

佐藤委員

私の大学は世田谷にあるが、地元の住民は自分の学校が廃止されるとネガティブに捉える。しかし、新しい学校を作ってみるときれいで設備が整っているから非常に喜ばれる。

私としては、やっぱり夢のある学校を作りたい。統廃合についても積極的な賛成意見とか希望を持ってもらいたい。そのためには、教育の理念が非常に大事。問8に環境変化の問があるが、これからの環境変化を積極的に提示型にできないか。

こういう学校を考えているということを示し、将来明るい展望を持たせるための設問を作れないものか。また、町田市が考える将来の学校像を示せば賛同を得られるのではないか。

丹間部会長

問8、10ページの部分で、そのような具体的な例、ビジョンがもう少しあったほうがいいということかと思う。事務局としてはいかがか。

教育総務課

皆さんにご議論いただきたいという意味で呼び水となる発言をさせていただく。佐藤委員から夢があったほうがいいということだったと思う。新たな学校づくり推進計画の構成案を示しているが、こういう夢を作ろうとしているということをご紹介するページを新たに置いたほうがいいのではないかと感じた。

この内容は、アンケートの構成や内容を議論するパートで議論を戦わせていただきたいと思う。

丹間部会長

通学区域に関しては、武藤委員から相原地区に関しての意見が1点出ていた。例えば相原の小中一貫教育の効果はどうだったのかということは、確かにこれは検証していかなくてはいけないことだろうが、アンケートでご意見をお聞きする前に、我々委員が良いとか悪いとかを決めるのではなくて、そのこと自体も保護者から意見を得ていくという進め方が大切だと思う。

その意味では、まずはこの通学区域アンケート調査案で意見を聞いてみるということでもよろしいか。それを確認したうえでアンケートの構成や内容について議論する進め方でよろしいか。

各委員

「異議なし」の発言あり

#### 4 「(仮称) まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」について

丹間部会長

それではアンケート調査の内容について意見交換をしていきたい。

遠藤委員

まず、全体として、1ページ目のあとには12ページ、13ページが来たほうが、児童数・生徒数が減少していくことが具体的にあって分かりやすいと思う。これを示した後に設問となる方が回答に結びつきやすいと感じている。

それと1ページ目の冒頭に生徒数・児童数の減少、学校の施設の老朽化という文言が入るのは仕方ないが、例えば「ICT環境に適した学校環境づくり」のように、子どもたちの環境を整えるための議論であることがわかる文言を入れたほうが前向きな気持ちでアンケートに答えることができると思った。

小崎委員

かなりまとめていただいたので、ほぼこれでいいかなと思っている。サンプルが南地区で作られているのですごくわかりやすいと思っている。

武藤委員

先ほどアンケート調査の内容についても話をしてしまったので、すでにお伝えしたということにさせていただきたい。

大石委員

この15枚を紙ベースで配ってから、8ページから10ページの設問についてWebアンケートをやっていただくという手順か。

教育総務課

このアンケート調査票については保護者の方に紙で配る想定。また、アンケート調査票とは別に、仮称だが「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査のWebフォームへのアクセス方法」ということで、答え方のご案内も一緒につけ、その2つの資料をセットにしてWebフォームからご回答いただくという構成を想定している。

大石委員

15ページにわたる資料を読み込んでアンケートに答えるということは難しいと思う。これは学校施設の老朽化や少子化というマイナスのイメージではなくて、明るい未来を設計していくためのアンケートであることが分かるために、公共施設再編計画にあるようなイラストが1枚あって、そこにICT化とか防災の拠点だとか、そういうフレーズがあると、未来の学校を作っていくということが分かると思う。

そして現実には、少子化や学校施設の老朽化などがあり、新たな通学区域などを考えているということを示せばいいと思う。むしろ、詳細についてはホームページに掲載したり、Webアンケート内に掲載先を案内したりすることでもいいと思っている。

ただ、きっちり説明するというのであれば、この形式になると思う。

もう1点気になるのが、ご自分の住まわれている地域が統廃合や通学区域の見直しの対象になっているということ、どれくらいの方がこの資料から読み取れるか。資料を読みなれた人じゃないと難しいと思った。

安達委員

第1回目部の議論を受けて、まとまっていると思う。

ただ大石委員から出たように、全てを読まないが多くなることもあると思う。回覧物を回したとしても、全て読んでくださる方はほとんどいないかもしれない。見直すところがあれば簡潔にまとめてもらえればと思う。

中委員

大変立派なアンケートができてよかったと思う。アンケートはできるだけコンパクト、シンプルにして、見える化してもらえば分かりやすいと思う。

- 佐藤委員 今、コロナウイルスで未来に対する不安がある。明るい未来を作るためであり、統廃合が目的ではない、こういう小学校を未来に向けて作るという内容がちょっとでもあったほうが回答いただけると思う。
- 教育総務課 今、このままでいいという方と、コンパクトにしたほうがより答えてもらいやすいという意見に割れていると思います。委員の皆様の発言のご主旨は、回答率を上げたいというお気持ちでは共通されていると思うので、どのようにまとめていくのが良いのか最後の段階でご議論いただければと思います。
- 丹間部会長 大きくは明るい未来に向けたビジョンを示すこと、構成として説明をコンパクト・シンプルにしていくことの2点があったと思う。
- まず、1点目の明るい未来に向けて、保護者が回答したいという気持ちになれるようにするためのご意見はあるか。
- 小崎委員 今の時代背景もあってということであれば、1ページ目の冒頭のところのキャッチとして入れるのかなと思う。文科省もこれから学校を大きく変えていかなければいけないということを行っている。
- 2040年度に学校が統廃合されていくときに、私たちが今議論しているような通う距離が云々ということは大きく変わってくる可能性があるといったことをキャッチ的に書くことはどうか。
- 武藤委員 小学校、中学校には子どもが一斉に使えるICT機器がなく、コロナウイルスの件への対応が遅れたのは全て機器の整備が大元になっていると思う。今、町田市が都内の自治体の中では早く対応していて、本年度中には全ての児童が1人1人体制が実現すると聞いており、ICTを活用した教育というのが進むと思う。町田市の教育プランが出ているが、教育プランを基に今後の姿が描けるのではないかなと思う。
- また、イラストはあるといいと思う。
- 丹間部会長 今、イラストの部分をもう少し前向きに具体的に出していったほうがいいということであった。私も、1ページを見て、このアンケートのタイトルにキャッチコピーのようなサブタイトルを入れることがありうらと思う。あとは本文も、明るい未来を目指していきたいという目的を先に出したほうがいいと思う。
- 10年後、20年後の子どもたちの教育環境を先取りして私たちは考えていきたいということ、その中でいろいろな課題はあるが、その課題を乗り越えていくための議論をしているんだという内容に変えてもいいと思う。
- これを読んだ方が、ぜひそういう議論であれば参加して意見を出したいというような形がいいのではないかと考えた。
- 佐藤委員 子どもの目線というのは大事だと思う。明るい「町田っ子」をつくるという願いをどこかに入れることによって、保護者の方々の共感も得られると思うのでその辺の工夫が必要かと思う。
- 丹間部会長 一度確認したい。本日の目標は、具体的にここをどうするという事について決定するのではなく、方向性、方針を部会として提示することでよいか。
- 教育総務課 方向性、方針を出していただき、25日の第2回審議会でご提案したい。
- こちらからの確認として、まず1ページ目の書きぶりのところを中心にご議論い

ただいたので、工夫したいと思う。

一方でイラストなどの文字ではない工夫でいろんな環境変化を説明する場合、どこか紙面を減らしたりとか、ページを変更しないと難しいと思うので、イラストを入れる場所や情報を割愛する部分などもご議論いただければ、提案しやすくなる。

丹間部会長  
大石委員

増やすだけじゃなくて削っていくという意見はどうか。

一つの考え方としては、アンケート編と資料編に分けるという考え方があると思う。

アンケート編は簡略的なものとイラストなどの視覚的なものにしていく。

資料編は、2ページ、3ページ、4ページ、最後の14ページ、15ページの辺りのデータの論拠となるように分けるということができると思う。

もう一つの案は、2ページ、3ページ、4ページをチャート図や矢印図にして、1枚に収めるという工夫もあると思う。

武藤委員

4ページに今回の取組の趣旨が上半分に文言で書かれているので、下半分に書いてある内容はイラスト化する内容だと思う。重要ということで、このページの冒頭に書かれているが、下半分に書かれている内容をイラスト化したうえで、私はここが2ページに来て、現在の2ページ、3ページは後ろのほうに持っていく。資料編とアンケート編に分けたとしても、16ページに収める必要があると思うので、2ページ目、3ページ目は資料編として後ろに収めるのがいいと思う。

小崎委員

イラスト化は受け取る側もかなりイメージのずれが発生すると思う。現実的にもこれからイラストを描き起こすのは難しいと思う。これはかなり難しいアンケートなので、ある程度の回答率の低下は仕方がないと思う。回答率の高さというよりは回答の内容として、アイデアが出てくるのが一番重要だと思う。

今回のアンケートは、良い・悪いというアンケートではないので、地域の方が、自分たちの地域の学校という一つのものがコミュニティを大きく変えていくというイメージの中で、どんな意見を持つかというのが一番気になるころだと思う。1ページ目はもっと夢を膨らませたほうがいいと思った。2040年に向かって、どれだけいいものを作っていくか、皆さんに聞きたいということを文章で分かりやすく出す工夫をする。2ページ以降は事実ですから、この事実を1ページでどれだけ夢を膨らませて考えてもらうかというふうに作っていけば、このアンケートの大きな骨組みとしていいと思う。

イラストや何かで夢を膨らませることもいいが、技術的な問題と時間的な問題が必要になると思う。この1ページについて、どんなキーワードを入れていくかだと思う。例えば、ICTを使った2040年の学校に向けて、新しい学校を作っていくというようなことを盛り込むことで、最初に読んだときに答えたいと思うようになると思う。

丹間部会長  
遠藤委員

1ページのところに対して、キーワードはどうか。

最初のページにどれだけ明るいイメージが持てるかによって回答率にも回答の内容にも影響してくると思う。文章の量としては減ってしまっても、今後どういった環境をつくっていきたいのかをもっと示していけたら、よりよい感じになると思

う。

教育総務課

2点確認したい点がある。イラストという議論があったかと思う。

1点目としてイラストの定義として、書いてある文字を図解化するという意味か、デザイナーが描いたような絵を描くという意味か、公共施設再編計画の中に書いてあるようなもともと利用されている絵を張りつけてキーワードをつけるという意味か。

2点目として2～4ページの構成はどうするかというところを少し整理していただけるとと思う。

補足として、第1回町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会の資料4別紙の8ページで、地域の核となる学校づくりの推進についてというページで、もともとあるイラストにキーワードを幾つか張りつけている絵がある。このようなもともとある絵に何かキーワードを追加するということであるならば、対応は可能と思うが、デザイナーなど誰かが絵を描くことは、時間の都合上難しい。イラストを流用して情報を示すということは技術的には可能。ポンチ絵、図解化、もともとあるイラストを流用した図を用いて、未来の明るい姿を示すことは対応は可能だと考える。

丹間部会長

第1回町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会の資料4、別紙の8ページに学校のイラストを入れることは可能であるという説明をしていただいた。大きさはともかく、イラストなどを入れることに反対の方がいるかどうかを確認したい。いらっしゃらなければ、アンケート調査票の中で効果的に「夢」や「未来」など明るい未来を展望して多くの方が回答いただけるような形でイラスト、図解を入れることにご異議はあるか。

各委員

「異議なし」の発言あり

丹間部会長

イラストなどを入れていくことを審議会に報告したい。

もう一つ、2ページ、3ページの構成はどうか。ここになくてもいいというご意見と、こういう順序で説明したほうがいいというご意見とで分かれていた。2ページ、3ページは各地区の内容ではなくて、全ての地区に関わる部分である。ここは後半に移動したほうがいいのかと武藤委員から意見があった。何か補足等はあるか。

武藤委員

この順番で追って考えていただくことはとても大事だと思う。

しかし、自分はすぐにアンケートに入りたいと思ったので、2ページ、3ページを、ここで言うところの10ページと11ページの間に持っていったほうがいいのかと思った。

丹間部会長

ほかの委員の方はいかがか。ここにあったほうがいいのかというご意見もあれば、その理由もお願いしたい。

遠藤委員

1ページ、2ページをめくって、すぐアンケートの設問のほうが答えやすいなと思っていた。この順序で読んでいくと、すごく順序立っているので分かりやすいというのはある。

ただ、突然アンケートをもらった立場であれば、ページを1枚2枚めくって設問

のほうが答えやすいと感じた。

そのため、1ページ目の後に一番分かりやすい12ページ、13ページの数字の推移みたいなものを示して設問に入る、もしくは地図とかを見て、分かりやすいものを見て設問に入るといほうが答えやすいと感じた。

丹間部会長

地図についてはかなりインパクトがあると思う。

そのため、地図の後にアンケートのほうがいいと私は思う。いきなりアンケートだと、わからないまま答えることになる。地図やその地区の概況を入れるかどうかだが、この点はいかがか。地区ごとのアンケートになっているので、町田市全体のことは後ろのページに持ってくるという提案も武藤委員からあった。

小崎委員

アンケートの回答者はなぜ再編、統廃合とってしまうと思う。現状からもある程度仕方ないということを確認してもらうのが2ページ、3ページの話だと思う。

2019年6月にアンケートをしたときは、人口減少や老朽化についてももしっかり記載したうえでアンケートをしたことから、「仕方がないがこうしてほしい」、「そうはいつでも嫌だ」などいろんな意見が出た。

だから、2ページ、3ページ目を読んでもらってアンケートに答えてもらう必要がある。人口減少や老朽化などの説明がないままアンケートをした場合に、こういう話だったらまた違う意見だった、となってしまうポイントだと思う。

しかし、2ページ、3ページ目はネガティブな内容なので、1ページ目で「夢」を示し、その後ネガティブなことを聞いていくということを示唆するという構成が必要だと思う。

そのため、3ページに相当する内容は調査票の最初のほうにないと、このアンケートは成立しにくいと思う。

武藤委員

2019年度の審議会の強い思いを感じた。その思いを大事にしたい。

丹間部会長

2ページ、3ページに記載している子どもの数の減少、学校統廃合ということに目を背けず、我々審議会も議論してきた。そのことを保護者・市民ともしっかり共有した上で答えていただきたいことから、2ページ、3ページはこの位置に置いて進める。そのかわりに、1ページを「夢」の持てる入り口に変えるということでご異議はないか。

各委員

「異議なし」の発言あり

丹間部会長

そのほか出ていた論点や確認事項等はあるか。

大石委員

9ページの間5-1の選択肢については、日本語がおかしいので、文言はもう一度精査したほうがいいと思う。

小崎委員

問9は、「期待する」というより、「夢」とか「希望」という言葉のほうがいいと思う。問9の一番の目的は、本当に夢のような話でもいいから、どんな学校になってもらいたいのかというイメージが聞けるのが一番いいと思う。問9は具体的に夢を語ってほしい、夢を聞きたいというような聞き方がいいと思う。

佐藤委員

私もそう考える。将来どういう学校を我々が描いているかということについて、保護者は分からないことが多いと思う。

そのため、ただ意見を聞くのではなくて、夢を持たせるための質問にするという配

慮は必要だと思う。

丹間部会長

10ページの特に問9の部分で夢を持って答えてもらうこと。第1回の検討部会では、遠藤委員から子どもの意見をという話も出た。実際にこのアンケートはお子さんじゃなくて保護者が答えるが、2040年のことであるから、各家庭で答える際に、保護者の方が自分のお子さんに意見を聞いた上で答えていただけるのが理想かと思った。この点に関して、問9を夢の持てる文言にしていこうと、アイデアはいろいろか。

中委員

子どもたち、親たちにいかにこの内容に関心を持ってもらえるかということだと思う。「町田市中心市街地まちづくり計画」が町田市から出ている。表紙には「“夢”かなうまちへ」というタイトルと、「～新たな賑わいと交流の創出～」というサブタイトルがある。このようなフレーズは入りやすい。こういうタイトルは、部会長がおっしゃっていたようなものではないかなと思う。このような計画やプロジェクトの冊子は幾つも市から出ている。そういうものも参考にすると、いいタイトルも出るのかなと思う。

佐藤委員

賛同する。

丹間部会長

ほかの計画やプロジェクトでも、前向きな夢のある計画づくりなどもされているということだ。ぜひそういった文言を参考にしながら、表紙や問9を中心とした部分の聞き方も変えていきたい。

小崎委員

私の考えだが、「あなたにとって未来の学校とはどんなものですか」「どんな学校を創ってほしいですか」というような聞き方にすると、いろんな回答が出てくると思う。これから新しい学校を創るときデザインの中に、今回のアンケートで回答があった中から、キーワードが使えてくると思う。

丹間部会長

このアンケート調査は、20年後の「町田っ子」や市民のためのアンケートであるということ踏まえて、この10ページの文言を書き直すことが必要だと思う。皆様からいただいたご意見を踏まえて、10ページを修正する方針でいかがか。

各委員

「異議なし」の発言あり

教育総務課

確認をしたい事項がある。1ページ目については、前向きな夢から入れるような表現やサブタイトルをつけ、前向きな気持ちで答えたいような示し方という議論だと受け止めているがどうか。

2～3ページ目の内容は、記載するページはともかく、アンケート調査票の中に記載するという議論だと受け止めているがどうか。

4ページの内容は、新たな学校づくり推進計画について記載しているが、上段の経過は残す、下段はイラストの工夫をするという議論だと受け止めている。ただ、このページは4ページ目に記載することでよいか。

また、下のほうは文字ではなくて、イラストに言葉を加える、もしくはポンチ絵にするかは事務局で工夫させていただくという議論だと受け止めているがどうか。

それ以降の5～13ページの構成については、この構成でいいと受け止めているがどうか。

問9についてはもっと前向きな夢を語れるような質問にしてほしいということと



受け止めているかどうか。

これ以外のところについては、構成とか内容については、ご指摘いただいた細かい点は修正するが、全体の構成はこのままで進めてよいか確認したい。

丹間部会長

4ページは事務局に工夫していただくことでいかがか。

各委員

「異議なし」の発言あり

丹間部会長

5ページ以降のところについて意見はあるか。

私からだが、6ページと7ページの地図は、見開きとなるようにしているが、左が2040年度、右が2020年度となっている。ビフォー・アフターみたいな表現の仕方だと、左がビフォーで、右がアフターという形で、これとは逆という案もあり得ると思った。ただ、今日の議論を聞く中で、先に夢を示したほうが良いと考えた。左側に2040年度があるのが良いと思い直したところでもあった。

大石委員

10ページの「Webフォームで回答をお願いします」の後に「Webフォームで答えられない場合は、本アンケートに記入の上、学校にご提出いただいても構いません」のように紙面でも提出が可能であることについて記載が必要だと思う。

丹間部会長

今回の意見交換の結果を踏まえて、第2回の審議会にアンケート調査票案を提出したいが、ご異議はあるか。

各委員

「異議なし」の発言あり

## 5 第2回検討部会開催概要・閉会

丹間部会長

(次回検討部会開催日程確認・閉会宣言)